

9. 第10-11回高木レクチャーについて

この数学通信では第10回高木レクチャー(2012年5月, 京都)の報告と, 第11回高木レクチャー(2012年11月, 東京)の予定をお知らせいたします。

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は, 世界から卓越した数学者を日本に招聘し, 専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象とし, 創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき, 日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています。高木レクチャーをもとにした研究総説は, 査読を経て **Japanese Journal of Mathematics (JJM)** に掲載されることになっています。

この趣旨に基づき「高木レクチャー」の創設が2006年3月26日(日), 中央大学で開かれた日本数学会評議員会で承認され, 2006年11月に第1回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催されて以来, これまでに10回の高木レクチャーが開催されています。

第10回高木レクチャー(2012年5月26日(土), 京都大学数理解析研究所)において,

Y. Benoist (CNRS, Orsay) :

「Random Walks on Homogeneous Spaces (等質空間におけるランダムウォーク)」,

A. Naor (Courant Inst. of Math. Sci.) :

「The Ribe Program—Ultrametric Skeletons (リーベ・プログラム—超距離スケルトン)」の講演が行われました。

当日には, 予稿の「高木ブックレット」が配布され, その最終版の研究総説は査読後, **JJM** に掲載される予定です。講演のビデオは日本数学会情報システム運用委員会と東大数理 Video Archives プロジェクトチームにより撮影編集が行われ, web 上で一般公開する予定です。

第11回高木レクチャー(予定)

日時: 2012年11月17日(土)—18日(日)

場所: 東京大学大学院数理科学研究科

講演者:

Paul Frank Baum

(Pennsylvania State Univ.)

Alex Lubotzky

(Einstein Inst. of Math.)

Robert Seiringer (McGill Univ.)

組織委員: 小野薫, 河東泰之, 小林俊行,
斎藤毅, 中島啓

主催: 日本数学会,

東京大学大学院数理科学研究科

協力: **Japanese Journal of Mathematics**,
東大数理 GCOE

当日は, 各講義の概要を「高木ブックレット」として配布する予定です。

高木レクチャーの HP

<http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/>

[takagi_jp/](http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi_jp/)

で最新情報を掲載いたします。

JJM は, 広く皆さまからのご投稿をお待ちしています。

なお, 数学会会員は **JJM** の個別のバックナンバーを会員割引価格 7500 円 (+税 375 円) で日本数学会事務局より購入することも可能です。

(小林俊行 記)